

令和3年12月1日

高齢者の支え合いと献血活動

会長 大形 則義

霜寒の師走を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症が減少して日常の社会生活活動が戻りつつあり喜ばしいことと思います。油断をせず感染予防をされて、明るい新年を迎えられますようお祈りいたします。以下、令和3年度上期の活動の概要、高齢者の支え合い活動と献血活動についてご報告いたします。

1. 活動の概要

委員会（総会）は書面議決により事業計画のご承認を頂きましたが、新型コロナウイルスの感染防止のため、多くの活動が中止や延期を余儀なくされました。

2. 敬老会・芸能発表会の中止と対応

9月20日開催を予定しておりました敬老会・芸能発表会は、コロナ感染症防止のため中止いたしました。その代わりとして、敬老者にお祝い品の贈呈を検討し、お祝いの言葉を添えて「保険証やお薬手帳を入れるマルチケース」=写真=と「支え合いネットチラシ」をお贈りしました。また、石内地区防犯連絡協議会より「防犯チラシ」や「メモ帳」、石内小児童からのメッセージをお贈り頂きました。



75歳以上の敬老者は352名おられました。ますます元気にお過ごしされることを心よりお祈りいたします。

3. 石内支え合いネットの活動

昨年12月に立ち上げた「石内支え合いネット」についてご報告します。

支え合いネット活動のチェック機能をさらに充実させるため「支え合いネット運営会議」を三和地域包括支援センター、民生委員・児童委員協議会とともに立ち上げ、3ヶ月に1回定期的に開催しています。見守り協力員の皆様の見守りカードやご報告に基づき、登録者への支援

をより充実させて行きたいと思います。新規登録の希望がおりの方は申込をよろしくお願い致します。

4. 献血事業の推進

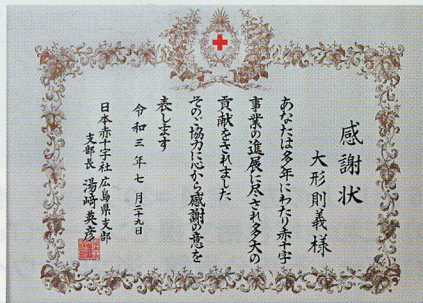
10月3日（日）に（株）サコダ車輛のオイル鋸金館を会場として400名献血が行われ



サコダ車輛に設けられた献血の受付・事前検査会場

ました。コロナ下にもかかわらず37名の方の尊い献血をいただき、例年通り献血を達成することができました。しかし、もっと献血者の増加を図りたく、ご協力をよろしくお願い致します。

この度、日本赤十字社より石内学区献血協会に対して感謝状=写真=が授与されました。



これもひとえに、地域の皆様、地域企業のご協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

5. その他

ふれあい・いきいきサロン石内、まごころ弁当の配膳、その他のサロンやいきいき百歳体操は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止と開催の繰り返しとなりました。開催時には多くのご参加をいただき、介護予防・健康増進を図りました。

広島市社協が「地域団体連携支援基金」で助成金制度創設

地域の課題解決へアイデアを

広島市社会福祉協議会に、「地域団体連携支援基金」が設けられました。地区社会福祉協議会が町内会や女性会など各種団体と連携して地域課題の解決や活性化に取り組むことに対し助成金を支給する新制度です。1 地区社協あたり上限が 50 万円。石内地区社協も今後 3 年の間に、取り組む事業を詰めて申請したいと考えています。各団体で「こんなことができたらいいな」「こんなものがあたらいいな」といった地域づくり事業のアイデアがあれば、お寄せください。

基金の趣旨は「自分たちのまちは自分たちで創る」という考え方で地区社協が核となり、地域団体と連携、地域での様々な取り組みを支援することによって「みんなでつながり・支え合う安心・安全なまちづくり」を推進するということです。

想定される取り組み事例としては、①災害発生に備えた危険個所の調査、防災マップの新規作成・内容充実②子どもの登下校の見守りや防犯パトロール活動の強化③高齢者への見

守り活動の強化—といった事業があげられています。事業は地区社協と町内会などの地域団体が連携して取り組みます。防災マップ作成であれば自主防災会、登下校の見守り活動の強化であれば「響きあう石内ネットワーク」と石内地区社協が連携して行います。1 地区社協あたりの助成限度額は 50 万円。取り組む事業は複数も可能です。本年度以降、令和 5 年度末までに開始する事業が対象になります。単年度事業でも複数年にまたがる取り組みでも大丈夫です。

事業の取りまとめ、申請は石内地区社協が行います。今後、各種団体の代表者の皆様にお集まりいただき、制度について説明するとともに、補助金申請事業について協議する機会も設けたいと考えています。

あたたかいご寄付ありがとうございました

奥田卓也様(下中町内会) 30,000円…父公三様の香典返しの一部として=令和3年10月23日

ご寄付は社協の活動に活用させていただきます。

いきいきサロンに参加しませんか

日 程	内 容	講 師	場 所
12月23日(木) 13:30~15:00	あなたの暮らしを守る方法 「成年後見制度」「かけはし」とは?	三和地域包括支援センター	新宮山荘
1月27日(木) 13:30~15:00	楽しく身体を動かそう!	介護予防運動指導員 伊藤修太さん	新宮山荘
2月24日(木) 13:30~15:00	日常生活を助ける用具 ~「福祉用具」について~	(株)ダスキン ヘルスレント事業部	新宮山荘
3月24日(木) 13:30~15:00	人生会議(ACP)とは? 「これから」について考えよう!	三和地域包括支援センター	新宮山荘

対象=おおむね 65 歳以上の方 定員=20 人程度 参加費=無料 申し込み・問い合わせ=石内公民館 (Tel 941-0120) 三和地域包括支援センター (Tel 926-0025) 主催: 石内地区社会福祉協議会・三和地域包括支援センター・石内公民館 ※コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる場合もあります。

編集後記

「私が目指す社会像。それは自助、共助、公助、そして『絆』であります」。「まずは、自分でできることは自分でやってみる。そして、地域や家族で助け合う。その上で、政府がセーフティーネットで守る」…。短命政権に終わった菅義偉元首相が繰り返し強調した言葉だ。これに対し「まず最初に自助というのは政府の役割を放棄しているに等しい」と批判された。大切なのは自助、共助、公助のバランスだろう。日本は諸外国に比べ、共助の部分が弱いようだ。そうした中で今回、広島市社会福祉協議会が設けた「地域団体連携支援基金」は共助と公助の混合型というところか。地域づくりに金銭面の支援を受けられることはありがたい。せっきくの補助金制度ですから活用しない手はありません。暮らしやすい地域づくりのために、各地域団体からの積極的な提案をお願いします。(R)